

平成24年度宇都宮市学習と生活についてのアンケート（宇都宮市立清原北小学校6年）

■分析と今後の指導上の工夫

- ・ 「勉強が好きですか。」の問いに対して肯定割合が9割で、学習意欲が高いことがわかる。「学校の授業がどの程度わかりますか」の問いには6割が「よくわかる」と答えており、肯定率は100%となっている。各教科が好きかという問いについても肯定割合が高く、「その教科は将来のために大切だと思うか。」の問いについても肯定割合が高い。教師は、児童の意欲が失われないように、わかる充実した授業を展開していく必要がある。平日の家庭での学習時間は1時間以上が4割である。よく学習している児童多く見られる反面、ほとんどしないという児童も2割程度いるので、家庭学習の充実に向け働きかける必要がある。
- ・ 「学習に対して自分から進んで取り組んでいる」「自分の力をできるだけのばした」の問いに対していずれも肯定が9割をこえており、中学への進学も間近に控え、学習や将来について前向きに考えるようになったと思われる。また、「学習していろいろなことが分かることはうれしい」「学習して身につけた知識は、将来の仕事や生活の中で役立つと思う」がともに肯定率が9割を超えているのも児童の健全さを物語っており、教師は家庭と連携して児童をあたたく支援していきたい。
- ・ 「学校で先生や友達にあいさつをしているか」については90%以上が肯定しているが、教師の観察では、声の大きさや自分からあいさつできるかななどで、決して満足な実態ではない。学校全体でも重点項目にしているところであり、継続的な指導をしていきたい。「学校生活に満足していますか」「学校のきまりやマナーを守っていますか」の問いには90%以上が肯定しているので、安定した学校生活を送っていることがわかる。
- ・ 読書については、「ほとんど読まない」が2割いる。休みの日には2時間以上が2割以上見られるようになるが、ほとんど読まない子も依然3割いる。授業に関連する本を紹介するほか、授業以外の場でも、読書の楽しさを伝えられる場面を増やしていきたい。司書教諭や放課後活動担当者への協力も仰いでいきたい。
- ・ 「1日にどれくらいテレビ、ビデオ、DVDを見ていますか。」「1日にどれくらいテレビゲームやパソコンをしていますか。」の問いに、平日にテレビゲームを「ほとんどしない」が3割だが「3時間以上」と答えた児童も3割、テレビのほうは「2時間以上」が4割である。全体に「見すぎ」といえる。休日になると、その時間はさらに増える。健康面からも、家庭と連携して指導していく必要がある。
- ・ 生活習慣については、「寝る時間」は9時～11時が8割だが、「12時ごろ」と答えた児童も1割いるので個別指導を行う必要がある。朝食については毎日食べてきている児童がほとんどである。また、「食事のマナーについて、関心がある」の問いでは、肯定率が100%となっており、食育の効果がみられてきていると考えられる。
- ・ 「自分やみんなのためになることは、つらいことでもがまんしてやろうとしている」や「学校での役割や係の仕事に責任をもって取り組んでいる」の問いに「とてもあてはまる」と答えている児童が多く、人のために働く心、責任を果たす大切さを理解し行動していることがわかる。

